

2025 年 12 月 24 日

各 位

abc ベーシックインカム構想、「MVMNT」プロジェクトによる実装が本格始動
～ティザーサイト公開およびセラー募集開始～

当社は、2025 年 11 月 28 日開催の定時株主総会において構想段階としてご説明いたしました中長期戦略「abc ベーシックインカム構想」について、このたび正式に公表するとともに、その実装を担う「MVMNT（ムーブメント）」プロジェクト（当社取締役が主導）のティザーサイトが 2026 年 1 月に公開される予定となりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本構想は、当社の掲げるパーパス「多様性を通貨にする」を、生活に届く価値として具体的に実装する取り組みです。

1. abc ベーシックインカム構想について

本構想は、制度的ベーシックインカム（現金給付）ではなく、株価やトークン価格の変動に依存しない、取引とエコシステムによる「生活を支える価値」の循環を実現するものです。

(1) 構想の基本コンセプト

株主・トークンホルダーが、衣・食・住の生活コストの一部を、エコシステム内の取引・優待・利用価値で代替可能にする仕組みを構築します。

本構想では、法的な所得保障や現金給付ではなく、「生活の選択肢が常に存在する状態」を設計することを目指しております。

(2) 独自指標「BI 利回り」の設定

当社は、市場価格(株価・トークン価格)に依存しない独自指標として「ベーシックインカム利回り(BI 利回り)」を設定いたしました。

この指標は、従来の配当利回りや株主優待利回りとは異なり、「年間の利用可能な生活価値の総額」を基準とするものです。

これにより、相場変動に左右されない「生活価値の積み上げ」を定量化し、株主・トークンホルダーの皆様に対して中長期的な価値提供を可視化してまいります。

(3) 段階的な実装設計

本構想は以下の3段階で実装を進め、中長期的には生活費100%相当の代替を目指します。

【モデル生活費の想定】

年間 200 万円 (月約 16.7 万円)

※総務省家計調査に基づく単身世帯の平均消費支出を参考に設定

- Phase 1(短期)：生活費の約 30%を代替
食(農産物・加工食品・飲料)、日用品(消耗品・生活雑貨)、住(空き家活用)、体験(地域体験・イベント)
- Phase 2(中期)：生活費の約 60%を代替
準居住・滞在の拡充、日常コマースの大幅拡充
- Phase 3(長期)：生活費 100%相当の代替を目指す
衣・食・住がエコシステム内で完結、AI による生活最適化

2. 「MVMNT」プロジェクトについて

(1) MVMNT の位置づけ

「MVMNT(ムーブメント)」は、当社取締役が主導する開発プロジェクトであり、abc ベーシックインカム構想の初期フェーズを実装するコマースエコシステムです。当社の自社サービスではなく、当社は同取締役を通じて開発の支援をしております。

法定通貨はもちろん、JPYC や\$NYAN などの仮想通貨での購入・決済が可能な EC プラットフォームとして、国内外のユーザー・セラー向けに多角的なサービスを提供していくプロジェクトです。

(2) MVMNT の主な役割

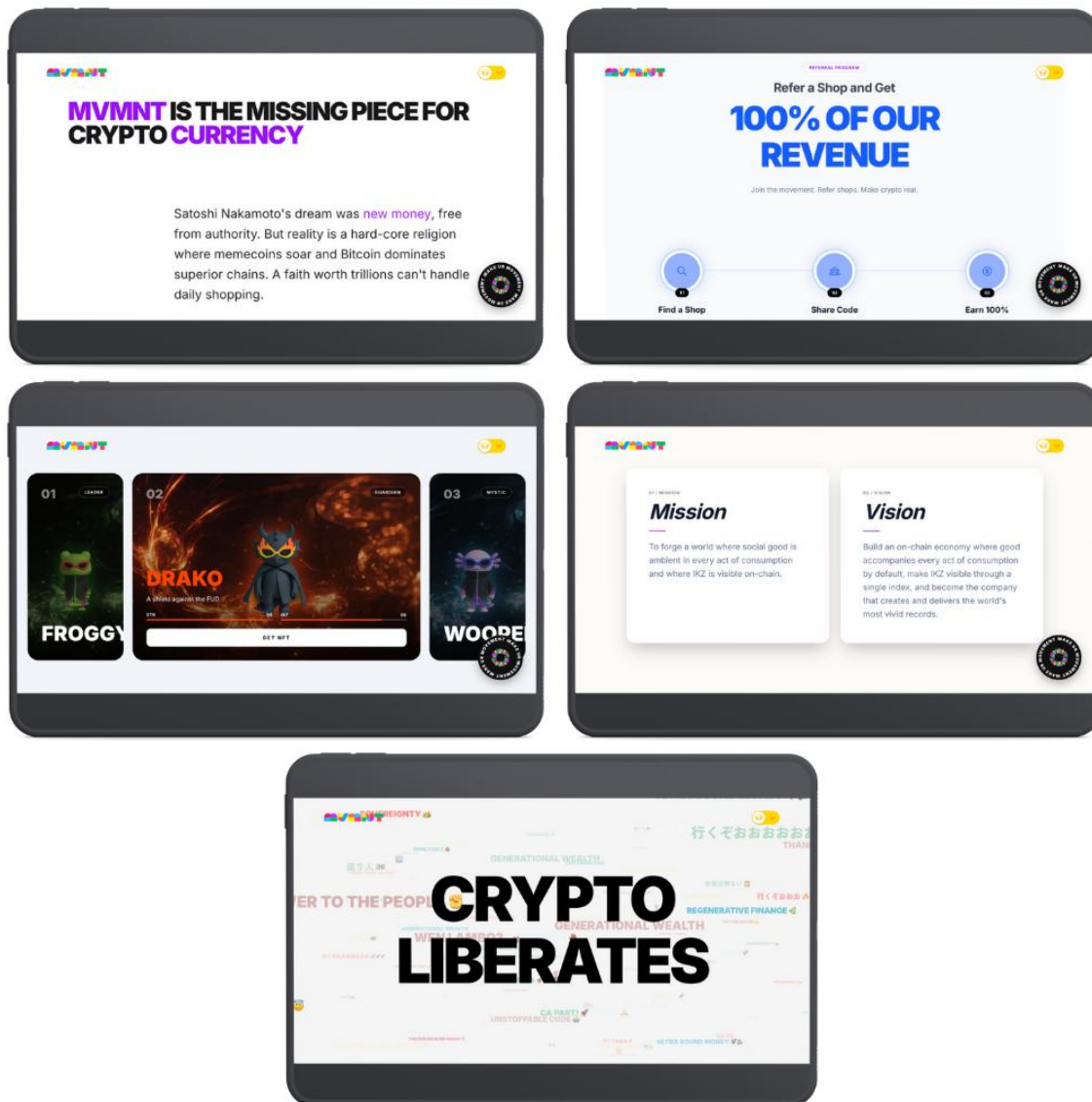
- ・ 日常生活商品(食品・消耗品・生活雑貨等)の流通構築と運営
- ・ BI 利回り設計の実装および運用
- ・ 供給者ネットワークの拡張
- ・ 株主優待
- ・ トークン連携機能の提供
- ・ 地方創生取引の組み込み

一社完結ではなく、開かれたエコシステムとすることで「多様性」を担保した 仕組みを構築してまいります。

(3) ティザーサイト

公開予定時期：2026 年 1 月（予定）

(4) セラー（出店者）募集開始



本プラットフォームのローンチに先立ち、次世代型 EC の取り組みに共感いただける出店者の募集を開始いたします。ブロックチェーン技術/新しい決済体験/グローバル展開などの機会を活用し、出店者とともに新しい購入体験の創出を目指します。

既存の EC に課題を感じている事業者や、新たなチャネルを模索するブランドにとって、実験的かつ実践的な場となることを目指しています。

3. 今回の取り組みについて

当社は、2025 年 2 月 14 日付「[寄付機能付き暗号資産決済型マーケットプレイス『MVMNT』の開発及び Web3 プロジェクトとのコラボ実施に関するお知らせ](#)」にて公表の通り、当社グループとして、「MVMNT」プロジェクトの開発を支援してまいりました。

MVMNT は当社取締役が主導する開発プロジェクトであり、当社は同取締役を通じて開発進捗を確認しながら支援を実施してまいりました。具体的には、暗号資産決済を活用した次世代型マーケットプレイスとしての MVMNT 開発において、プラットフォーム設計支援、Web3 プロジェクトとの連携支援、およびトークンエコノミクス設計支援等を実施してまいりました。

今回のティザーサイト公開により、本構想実装フェーズへ移行し、MVMNT を通じた価値提供が開始される予定です。

4. 今後の見通し

当社は、当社取締役が主導する「MVMNT」プロジェクトを通じて「多様性を通貨にする」というパーパスを具現化し、株主・トークンホルダーの皆様に対して、相場変動に左右されない生活価値の提供を目指してまいります。

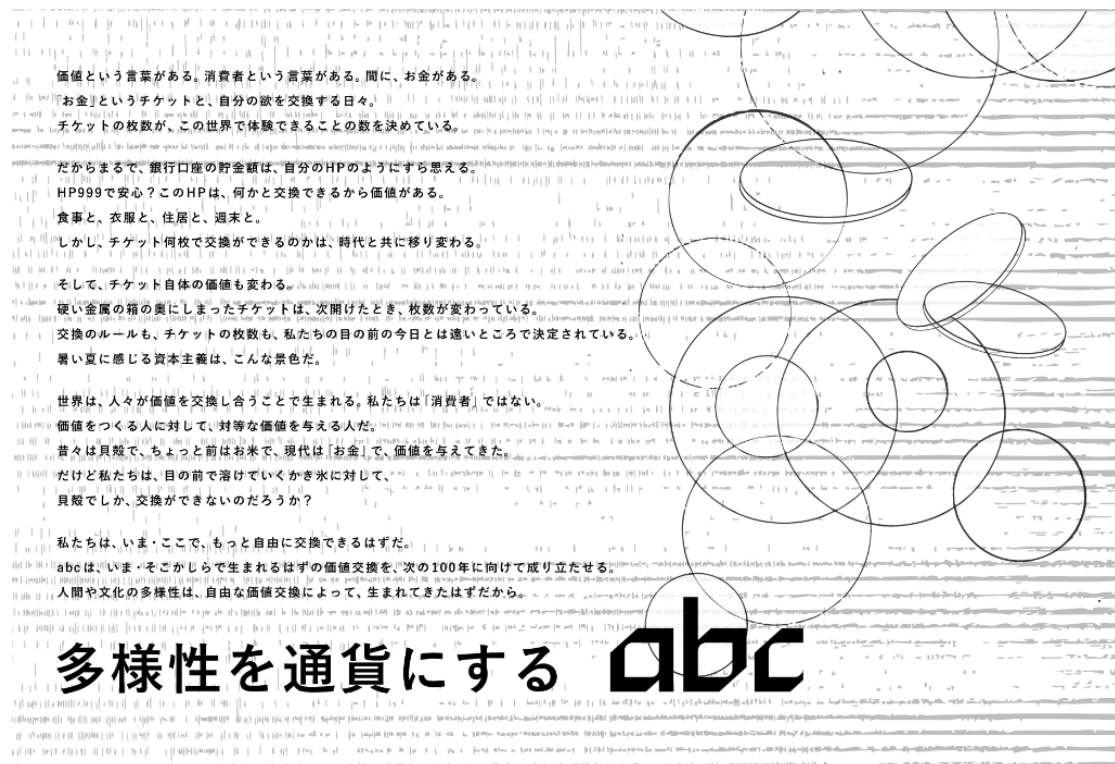
株主・トークンホルダーの皆様とともに、新しい価値循環のエコシステムを創り上げてまいります。

なお、本件が当社連結業績に与える影響は軽微です。

※本構想は、社会保障制度や公的所得保障ではなく、当社独自の価値循環エコシステムです。直接的な現金支給や生活費全額保証を約束するものではなく、生活価値の代替手段を提供する仕組みです。

※本リリースは情報開示を目的としており、暗号資産の購入や売却を勧誘するものではありません。

※記載された時点での情報に基づいており、今後の運営方針や仕様は変更となる可能性があります。



価値という言葉がある。消費者という言葉がある。間に、お金がある。

「お金」というチケットと、自分の欲を交換する日々。

チケットの枚数が、この世界で体験できることの数を決めている。

だからまるで、銀行口座の貯金額は、自分のHPのようにすら思える。

HP999で安心？このHPは、何かと交換できるから価値がある。

食事と、衣服と、住居と、週末と。

しかし、チケット何枚で交換ができるのかは、時代と共に移り変わる。

そして、チケット自体の価値も変わる。

硬い金属の箱の奥にしまったチケットは、次開けたとき、枚数が変わっている。

交換のルールも、チケットの枚数も、私たちの目の前の今日とは違うところで決定されている。

暑い夏に感じる資本主義は、こんな景色だ。

世界は、人々が価値を交換し合うことで生まれる。私たちは「消費者」ではない。

価値をつくる人に対して、対等な価値を与える人だ。

昔々は貝殻で、ちよつと前はお米で、現代は「お金」で、価値を与えてきた。

だけど私たちは、目の前で溶けていくお米に対して、

貝殻でしか、交換ができないのだろうか？

私たちは、いま、ここで、もっと自由に交換できるはずだ。

abcは、いま、そこらで生まれるはずの価値交換を、次の100年に向けて成り立たせる。

人間や文化の多様性は、自由な価値交換によって、生まれてきたはずだから。

多様性を通貨にする abc

■ abc 株式会社について <https://www.gfa.co.jp/>

abcは「多様性を通貨にする」を掲げます。私たちのアイデンティティであり、北極星であるこの言葉は、未来社会への約束です。私たちはこの言葉を、経営、事業、クリエイティブの判断軸とすることで、Web3 技術を核とした通貨の専門集団として、従来の金融システムの枠組みに捉われない「善いことをした人が得をする世界」を目指します。

abcのグループ企業ネットワークにも「Tokenized by abc」をブランド表記として加え、各事業と一体で示すことで、統一的なブランドマネジメントを通じて、グループ全体として多様性を通貨にし、新しい価値交換システムを提供していきます。

所在地：東京都港区赤坂四丁目9番17号 赤坂第一ビル11階

代表者：代表取締役 松田 元

事業内容：企業・ファンド等への投資、投資先支援、不動産関連事業、暗号資産関連事業

《本件に関するお問い合わせ先》

abc 株式会社 経営企画部

pr@abc-chain.com

以上